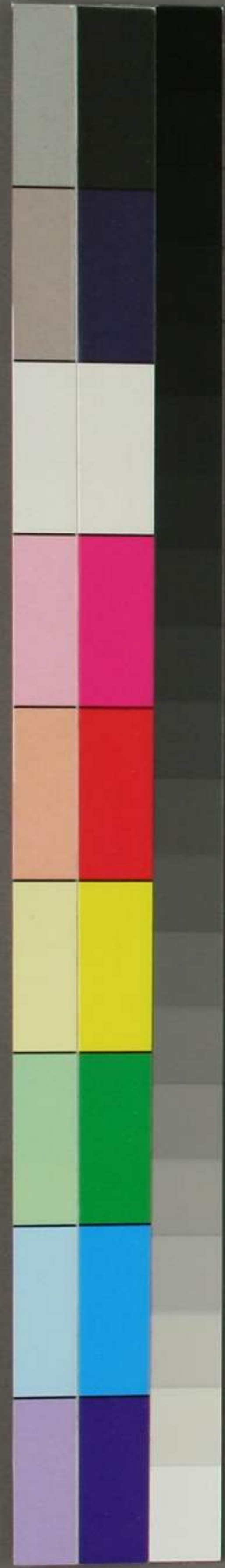


高林庵茶湯道具懷石附

完

ヲ多  
2230





移  
2230

五十四

寬文十二年二月十八日

杉年更此可取

水野野野

杉年更此可取

杉年更此可取



一 初 利休齋

一 杉年 遊戯二方字 扇古拙字

一 上ノ道 網ノ字 流ノ字 原ノ字 杉年

一 下ノ網 系ノ字 杉年 杉年



海

一 專<sup>ニ</sup>今ノ花入矢袋為極 ミツキ

一 伝柴水指 ワキニ井戸 兼碗仕也

一 糸入金 一 糸抄 通年

一 柳抄風抄之、窓あけこもて

一 水籠 杖之ツウ 善竹 善重

一 糸後柳抄竹掃之、柳瓦ノ字

一 湯ノ炭 柳瓦 一 水次 柳瓦

海氣 大り掃り 籠 籠

汁 ちり ちり ちり ちり

川石

かゝり物

湯物 湯 湯 湯 湯

湯物 湯 湯 湯 湯

さし さし さし さし さし

湯物 湯 湯 湯 湯

湯物 湯 湯 湯 湯

湯物

湯物

湯物

湯物

湯物



こころ

ふりくろしぬ入

山考卯

有者

車西をり午物

湯菜子 葡萄 如掃

書院飾

一 巾之幅一對

形輝色

書具

合の椰子

行書院琴ノ硯少迄具在硯ノ記巻四冊

ノセテ寄清本

清本

透桐

合の椰子二葉子入テ

二月九日吹

山考京丹所

書於古紙

水跡

紙跡

紙跡

一 初 書跡

山考京丹所

一 二、湖

深草原

下書具

一 落 入

身

大書

一 信樂水指 葉入

極妙

一 葉落極妙竹橋上



一 後ノ炭を

書院茶小同

融之

鈴

語彙  
江いり  
りり  
りり

川石

川の石

鑄石

おし  
おし  
おし

汁

治り  
急の  
りり  
りり

め

らんらん

らんらん

らんらん

鳴り

鳴り

茶子

之月

杉平  
山田  
杉平  
京山  
杉村  
京山

茶子

印  
一 下ノ

茶入

一 湯  
花入

花入  
トヒ入

融之

之月



酒井り向う  
所野寺の  
形似る  
橋より  
石尾より

一 下ノ柳 甚具合 際

一 花入 能桃 花入法 心宜らむ

一 信樂水持 花入 花入 花入

一 花入 花入 花入 花入

一 書院之幅一對 花入

花入 花入 花入 花入

二月十日

堀田寺  
小幡  
堀田寺  
花入

一 花入 花入 花入

花入

花入 花入 花入

花入 花入 花入

花入







二月十九日

竹脚山城多  
嘉子居在  
楠 山  
少 道

了 弟 少 日

二月十八日

杉平乃端了  
杉平乃端了  
長保 殿  
以 後 良 之 也  
東 平 也

二月十八日 杉平

一 書院 五福一對

二月十八日

杉平乃端了  
大 保 寺  
日 右 左  
杉平乃端了  
流 川 也

一 流川流 穀ノ 杉平

二月十八日

由 田 織  
口 与 乃 在







さとう

糖

砂糖

砂糖

糖

砂糖

菓子

菓子

菓子

糖

糖

糖

糖

糖

糖

糖

糖

糖

一風が全トホウ

大板

一上ノ棚 茶葉ニ炭組

一下ノ棚 新ふとま合 環

一湯切 茶山灰

一厚竹 茶入 イ千ハス

糖

糖

糖

汁

め

汁

糖

糖

糖

糖

糖

糖



丁うす

たしき院

明也

いり印  
あつめ

日月ナリ院

あまのまをまふ  
はげげ申さる  
毛利利給ふ  
多印丹照る  
あまのま

一信樂山猪上 福抄前達 末葉入

日月ナリ院

高福寺  
末福寺  
全別院

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

汁

あまのま  
あまのま  
あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま

あまのま



うさぎ

うさぎ

うさぎ

穀にしろ ちんちん

に月十方地

中川(佐渡)の  
村(越前)の  
長(多)の(七)を(又)  
為(野)の(あ)る(地)

一 花入 牡丹 洛ウツキ

花之

花

牡丹 洛ウツキ  
花之  
花

汁

め

こ(は)の(こ)  
あ(ま)の(こ)  
山(神)の(め)

川

つゝの地

地

い(し)の(れ)  
山(神)の(め)

いんそり

地  
山(神)の(め)

いんそり

餅のそり

地

く(つ)の(地)  
山(神)の(め)

山(神)の(め)

に月十方地

ち(ん)の(地)  
山(神)の(め)



一下ノ桐舎合環  
一花入 芳葉

口月子丸方塊

口月子丸方塊  
下多身化多  
下多身化多  
下多身化多  
下多身化多  
下多身化多  
下多身化多  
下多身化多  
下多身化多  
下多身化多

一花入 竹ウツキ 白ハミガ葉  
一系碗 口月子丸方塊

口月子丸方塊

山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき  
山田七をまき

一ア多 一併一ウツキ

一下ノ桐 根を合環

一草多 竹ウツキ

一洲ノ流新花入 白芳葉 竹ウツキ

一水多の上ニ花多

一凡部ト整トノ芳多初ノ遊ニ移ナリノ葉入  
一系ニ竹多

口月子丸方塊

口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊  
口月子丸方塊

口月子丸方塊

汁 山田七  
め



つゝの

つゝの

つゝの  
つゝの  
つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの  
つゝの  
つゝの  
つゝの  
つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの

つゝの



一 香合道具等、目

如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む  
如葉石を好む

たて部  
踏踏  
たて部  
踏踏

たて部  
踏踏  
たて部  
踏踏

の  
の  
の

備

可  
可  
可  
可  
可  
可  
可  
可  
可  
可

汁

可  
可  
可  
可  
可  
可  
可  
可  
可  
可

せんせい

せんせい

たて部

たて部

たて部

たて部

たて部

たて部  
たて部  
たて部  
たて部  
たて部  
たて部  
たて部  
たて部  
たて部  
たて部

一 下ノ棚 根を合

一 瓦入 白蓮花

一 水指 玉の柳の根、葉入







多筆

地味幸

いりふ  
こらやま  
幸りつみ

け

小葉

川

つ

梅おふこ同

こ

はしき  
こらふ  
こてゆ

こ

味

明

こらふ  
こらふ  
梅

系

ふな係 小葉 山ノ

五月大

松平刑部

る

地味幸

い  
こらふ  
こらふ

け  
小葉  
あま

川

つ

梅

あたい  
梅

こ

い  
こらふ  
こらふ

さ

こらふ

こ

明

小葉  
せ

系子  
水

五月大

松平刑部



生糖

塩辛

いりこ  
けし  
けし  
けし  
けし

汁

水戻し  
けし  
けし  
けし  
けし  
けし  
けし

め

いりこ

焼物

けし  
けし  
けし  
けし

新

あじ  
けし  
けし  
けし  
けし

きり

貝田糸

焼物

けし  
けし  
けし  
けし

菓子

けし  
けし  
けし  
けし

いりこ

けし  
けし  
けし  
けし

生糖

いりこ  
けし  
けし  
けし  
けし

汁

けし  
けし  
けし  
けし  
けし  
けし

め

いりこ

焼物

けし  
けし  
けし  
けし

菓子

いりこ  
けし  
けし  
けし  
けし

いりこ

けし  
けし  
けし  
けし  
けし



吸物  
車煮  
なまこ  
まじり

六月十三日

さし  
つら  
つら

汁  
所  
汁  
つら  
つら  
つら

つら  
つら

つら  
つら  
つら

つら  
つら

つら  
つら

つら  
つら  
つら

つら  
つら

つら  
つら

つら  
つら

つら

つら  
つら

つら

つら  
つら

六月十三日

六月十三日

酒  
つら  
つら  
つら

つら  
つら  
つら

汁  
つら  
つら

つら



川白

川の物

焼物

粉原細い子  
阿田 名付子  
塩山

煮あ

塩  
塩  
塩  
塩  
塩

さし

さし

貝でん

吸物

塩  
塩  
塩

塩

菓子 宗乃解 水梨 塩

塩

赤豆の燻

吸物

塩  
塩  
塩

さし

塩

六月六日

水産宰相様

右田の中  
杉枝 送子

一 古風

カエカ

火金 トンボウ

一 暑気

扇 古林 二

一 下ノ棚 善具 夏ノ産

一 炭 中ノ



一番合 根を煮貝

一斤にメンツウ 煎

物五

汁

細切草 煮る

たいい  
いけい  
いけい  
いけい  
いけい

汁

汁

細切草

細切草

いけい  
いけい  
いけい  
いけい

いけい

馬蹄貝を煮る

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

いけい

汁

いけい

いけい  
いけい  
いけい  
いけい

いけい

いけい

いけい  
いけい  
いけい

いけい

いけい

いけい

いけい



一 茶碗 湯系編 出産 巧如 茶抄利休

一 茶屋 西州之 柳子竹編 上 巧如

書院

一 二幅一對 寄舟子 中野道 西眼厚

一 喜貝年 柳子秀評

一 書院 琴ノ 硯小道具

硯ノ 記 拙意ニ 一セテ 九ノ 子

書院 長澤牛

一 透和 上ノ 方 源氏 入子

下 合 名 作 二 迎 系 子 入 子

小書院

一 透和 水谷 系院 一 花ニ 一セ 下 籠

硯如 洒洒ニ 系子 入子

一 口紀ノ 板 之 源 柳子ノ 秀評

一 口家ノ 硯 文 函 硯

法 以 系 子

枇杷 瑞梅 打粟 三ノ 風

法 院 内 柳 子 系 子

法 井 月 出 系 子  
永 井 道 休 系 子  
中 山 初 編 系 子  
中 山 傳 系 子



わすらん  
糸正水織

乃れ汁  
ついで

山崎

山崎

さうな

あつ〜〜〜ぬ入汁タメニ

尾り〜〜〜

さ〜〜〜

山崎

た〜〜〜

尾り〜〜〜

あ〜〜〜

水づき

山崎

山崎

い〜〜〜

去る〜〜〜  
大〜〜〜  
山崎

た〜〜〜

山崎

山崎

後六月十日

内屋出〜〜〜

山崎

山崎

汁

山崎



りる

りる

焼物

焼物  
生テあり  
塩山

りる

りる

焼物

焼物

焼物  
生テあり  
塩山

りる

焼物

焼物

りる

焼物

焼物  
生テあり  
塩山

りる

焼物

焼物  
生テあり  
塩山

りる

焼物

りる

焼物

焼物  
生テあり  
塩山

りる

焼物

焼物  
生テあり  
塩山

りる

りる

りる



たつげ

ふら

ひら

糸

糸

糸



